・文字の明度

・暗い文字から明るい文字へ

黒から赤のような明るさではなく、同色の中での明るさ

「若年者が見にくいと感じる環境条件が「暗さ」であることから、暗さを排除したレイアウト（画面が暗く感じないよう背景を白っぽい色合いにする、等）がレイアウトを作る上で適切ではないかと仮説をたてられる。」

根拠として大学生のVDT課題遂行の作業パフォーマンスにおける疲労感を抑制する明度条件が研究されているのでそれを出す。

↓

（疲労感について、８配色の中で最も明度さが低い配色が高かった（色の明度が近いほうが文字認識にストレスを感じるといえる。Ex.「白に濃い黒」よりも「白にグレー」の方が、疲労感が高くなる） ）

眼球運動の解析による可読性評価<https://www.jstage.jst.go.jp/article/ieejeiss/128/7/128_7_1058/_pdf/-char/ja>

より可読性評価を定量的に行った結果、ポジティブ配色およびネガティブ配色の両群でコントラストの低下に伴って可読性が低下する傾向が確認された。

・文字の大きさ

→**学生にあたる年齢層（17～20歳）の読みやすい文字の大きさの実験結果平均pointの平均値をとり適応する。**

根拠論文→<https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/11415>

↑p5：高校生と大学生で大きな違いはない。高校までは適正環境に変化あり。高校生以降はほとんど変化なく、成人と同じ環境を適応しても問題ない。

 ・フォント（ゴシック・明朝）

低学年層：ゴシックのほうが見やすさを感じる

高学年層：見やすさのポイントに大きな差はみられない。明朝体の方がやや数値が高いが、その差は教科書や本などで明朝体を目にする機会が多いことが関連しているのではないだろうか。（逆にゴシック体を目にする機会が多かった人はゴシック体を選択している可能性あり）

・身体的疲労感を緩和するための施策（3－4コンピュータ活用時における画面上の問題点・4－2画面上の問題点と身体的疲労感の関連について・５まとめ）

<https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhesj/16/1/16_KJ00007022211/_pdf/-char/ja>論文

<https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhesj/16/1/16_KJ00007022211/_article/-char/ja/>説明ページ

画面を構成する色に関する条件として「蛍光色」「明るすぎる色」「色が変化する画像のボタン」「点滅する文字やボタン」「彩度（色味）が強すぎる」などの問題点が調査の結果として挙げられる。

「目立つ色が多く使用されている」ことが「目がちかちかする」「目の疲れ」「肩こり」のすべてに関連することが判明している。

大学生はコンピュータ画面に対して、見やすさわかりやすさ、使用されている色、配色、文字、背景に関する複数の問題点を感じ、それらには色に関する条件も多く含まれること確認された。また大学生はコンピュータの使用時間の長短にかかわらず身体的疲労を感じる場合があり、その症状は画面上の見やすさや分かりやすさに関する複数の問題点と関連していることが認められた。

以上のことから**「身体的疲労感」を画面の見やすさの観点の一部ととらえ、見にくい条件の逆の観点を当てはめていく**

**・蛍光色を使用しない**

**・明るすぎる色を使用しない（彩度）**

**・目立つ色を多用しない**

**・ボタンに華美なエフェクトを使用しない（色が変化する画像ボタン・点滅文字・点滅ボタン）**

・コントラスト

眼球運動の解析による可読性評価（５．おわりに）<https://www.jstage.jst.go.jp/article/ieejeiss/128/7/128_7_1058/_pdf/-char/ja>

上記論文内での検討の結果、**白色背景を用いることで可読性が高くなり、背景色と文字色のコントラストが75％以上とすることがwebアクセシビリティを考慮する上で有効であると示された。**

背景色（明度）

<https://muroran-it.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=5111&item_no=1&page_id=13&block_id=21>

・明度差3.00の配色でかつ配色自体の明度が明るくなるほど青年ユーザの操作の正確性が向上

・画面構成色間の明度差（コントラスト）を低くし、寒色系の色彩であれば一層操作の迅速性、正確性と操作者の画面への主観的評価は高くなる

以上2点の観点から

**背景色には文字色との明度差3.00で明度の高い寒色を使用することで若年層の可読性・視認性向上につながる**と考察した。